
守山市
認知症施策推進計画策定に係るアンケート調査
報告書

令和 8 年 3 月

目次

1. 調査概要	1
(1) 実施概要	1
(2) 配布件数、有効回答件数及び回答率	1
(3) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
3. 結果の概要	3
C 票（調査対象者ご本人向け調査票）	3
D 票（主な介護者向け調査票）	13

1. 調査概要

(1) 実施概要

調査対象	要支援 1・2、要介護 1～5 の認定を受けている 65 歳以上の高齢者から無作為に抽出した方
実施方法	郵送配布、郵送及び WEB 回収、期間中に 1 度礼状兼督促はがきを送付 ※在宅介護実態調査の郵送配布分に併せて実施
実施期間	令和 7 年 12 月 22 日（月）～令和 8 年 1 月 21 日（水）

(2) 配布件数、有効回答件数及び回答率 ※（ ）内は前回の在宅介護実態調査

	配布件数	有効回収件数	有効回収率
		うち WEB 回答の件数	有効回収に占める WEB 回答の割合
郵送調査	1,000 件（1,000 件）	714 件（689 件）	71.4%（68.9%）
		113 件	15.8%

(3) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりです。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 一部の設問では前の設問の回答内容などにより回答者が限られるため、母数が異なる場合がある。
3. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合がある。
4. 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3 つまで）、2LA（2 Limited Answer＝2 つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
5. 各種リスク等判定結果は、母数から判定不能を除いている。
6. 表内において、**上位 1 位**、**上位 2 位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。
7. 報告にあたって、認定データに含まれる「認知症高齢者の日常生活自立度」などを用いてクロス集計を行い、市全体だけでなくそれぞれの属性における特徴や傾向について分析を行った。

2. 回答者の属性

上段：実数、下段：割合（％）

		全 体	認知症高齢者の日常生活自立度（認知症自立度）								
			自立 ※	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	不明
全 体		779 100.0	219 28.1	226 29.0	132 16.9	136 17.5	36 4.6	17 2.2	5 0.6	－ －	8 1.0
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	26 100.0	14 53.8	9 34.6	1 3.8	2 7.7	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	後期高齢者	223 100.0	65 29.1	62 27.8	38 17.0	39 17.5	12 5.4	5 2.2	2 0.9	－ －	－ －
	女性 前期高齢者	40 100.0	19 47.5	10 25.0	5 12.5	4 10.0	－ －	1 2.5	1 2.5	－ －	－ －
	後期高齢者	482 100.0	121 25.1	145 30.1	88 18.3	91 18.9	24 5.0	11 2.3	2 0.4	－ －	－ －
要 介 護 度	要支援１・２	306 100.0	165 53.9	130 42.5	8 2.6	3 1.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	要介護１・２	354 100.0	43 12.1	89 25.1	110 31.1	105 29.7	5 1.4	2 0.6	－ －	－ －	－ －
	要介護３～５	110 100.0	10 9.1	7 6.4	14 12.7	28 25.5	31 28.2	15 13.6	5 4.5	－ －	－ －

※自立は、認知症を有していない者

認知症高齢者の日常生活自立度とは、認知症の高齢者が、どの程度自立して生活できるのかを 9 つのレベルで評価する指標で、要介護認定の際に判定されます。

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
	Ⅱ a 家庭外で上記Ⅱの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
	Ⅱ b 家庭内でも上記Ⅱの状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
	Ⅲ a 日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	Ⅲ b 夜間を中心として上記のⅢの状態が見られる。	ランクⅢ a に同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクⅢ に同じ
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

出典：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

3. 結果の概要

C票（調査対象者ご本人向け調査票）

- C問1 あなたは、家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができていると思いますか。（ひとつだけ○）

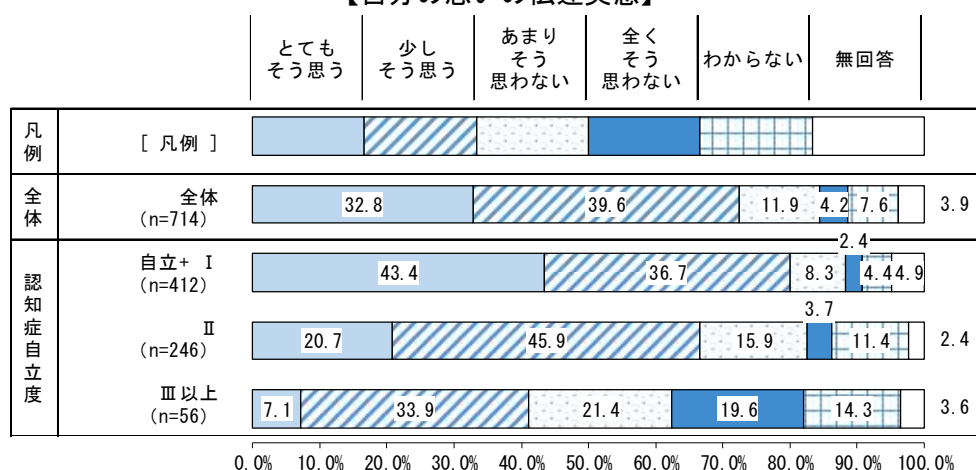
【全体】

- 自分の思いの伝達実感について、「少しそう思う」が39.6%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が32.8%、「あまりそう思わない」が11.9%となっています。
- 「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は72.4%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は16.1%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度が軽度なほど「とてもそう思う」「そう思う」が高い傾向がみられます。

【自分の思いの伝達実感】



- C問2 あなたは、地域・家庭で何かしらの役割を果たしていると思いますか。（ひとつだけ○）

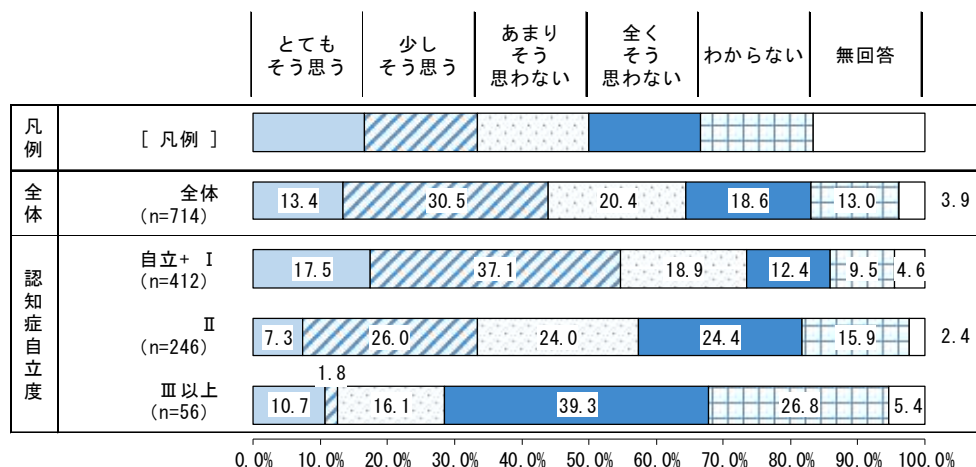
【全体】

- 地域・家庭での役割実感について、「少しそう思う」が30.5%で最も高く、次いで「あまりそう思わない」が20.4%、「全くそう思わない」が18.6%となっています。
- 「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は43.9%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は39.0%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度が軽度なほど“そう思う”が高い傾向がみられます。
- 認知症自立度III以上では「わからない」も26.8%と高くなっています。

【地域・家庭での役割実感】



● C問3 あなたは、自分の個性を大切に、暮らせていると思いますか。(ひとつだけ○)

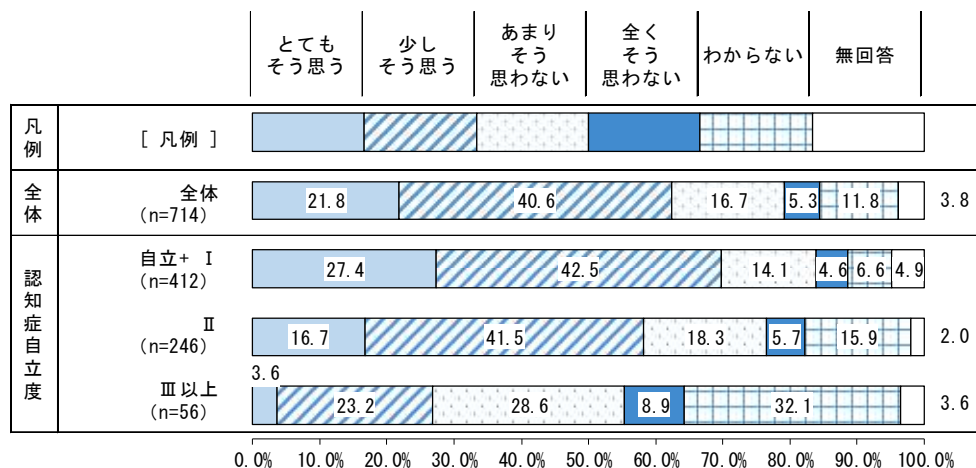
【全体】

- 個性を大切にした暮らしの実感について、「少しそう思う」が 40.6%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が 21.8%、「あまりそう思わない」が 16.7%となっています。
- 「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は 62.4%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 22.0%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度が軽度なほど「とてもそう思う」「そう思う」が高い傾向がみられます。

【個性を大切にした暮らしの実感】



● C問4 あなたは、自分の思い通りに、自分の望む生活が継続できていると思いますか。(ひとつだけ○)

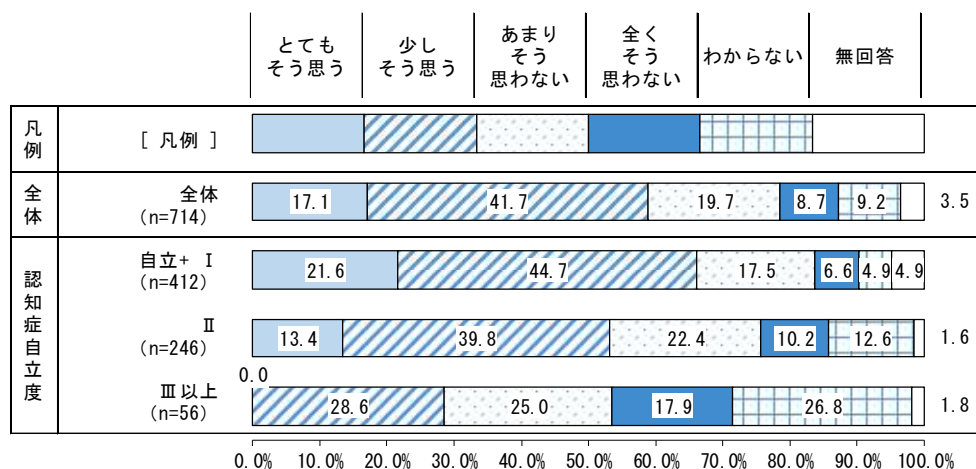
【全体】

- 望む生活の継続実感について、「少しそう思う」が41.7%で最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 19.7%、「とてもそう思う」が 17.1%となっています。
- 「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は 58.8%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 28.4%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度が軽度なほど「とてもそう思う」「そう思う」が高い傾向がみられます。

【望む生活の継続実感】



- C問5 現在、あなたが楽しみにしている（続けている）ことを教えてください。（いくつでも○）

【全体】

- 現在の楽しみ・継続していることについて、「その他」が37.5%で最も高く、次いで「友人との交流」が26.3%、「介護予防のための通いの場」が23.1%となっています。

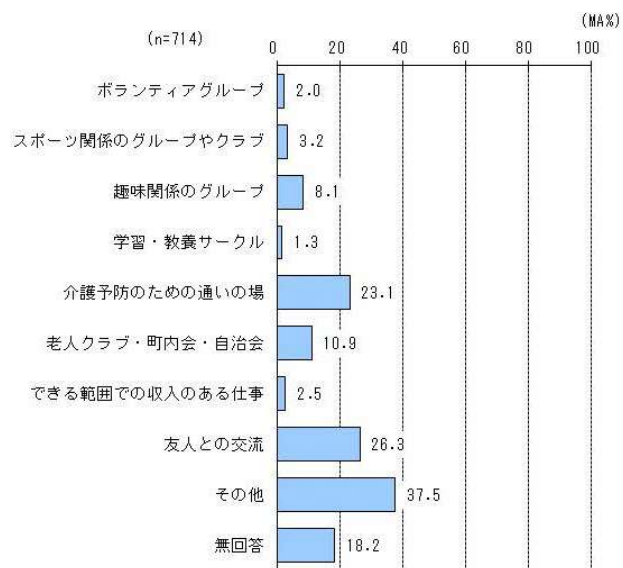
【性・年齢】

- 男性では女性に比べて「スポーツ関係のグループやクラブ」が高く、女性では男性に比べて「介護予防のための通いの場」「友人との交流」が高くなっています。

【認知症自立度】

- 多くの項目で認知症自立度が軽度なほど回答割合が高くなっています。

【現在の楽しみ・継続していること】



単位：%

単位：%

		母数	現在の楽しみ・継続していること									
			ボランティア	スポーツ関係のクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ・自治会町内会	できる範囲での収入のある仕事	友人との交流	その他	無回答
全体 (n=714)		714	2.0	3.2	8.1	1.3	23.1	10.9	2.5	26.3	37.5	18.2
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=23)	23	-	4.3	4.3	4.3	▼ 4.3	4.3	-	17.4	43.5	30.4
	後期高齢者 (n=204)	204	2.9	3.9	10.3	2.0	17.2	7.8	3.4	17.2	43.1	22.1
	女性 前期高齢者 (n=37)	37	-	2.7	-	-	21.6	-	2.7	21.6	37.8	21.6
	後期高齢者 (n=450)	450	1.8	2.9	8.0	0.9	26.9	13.6	2.2	31.3	34.7	15.6
自認 認知症 度	自立+ I (n=412)	412	1.9	4.1	9.2	1.7	26.9	13.3	2.9	32.8	31.6	16.5
	II (n=246)	246	2.4	2.4	6.9	0.8	20.7	8.5	2.4	18.7	43.5	18.7
	III以上 (n=56)	56	-	-	5.4	-	▼ 5.4	3.6	-	▼ 12.5	△ 55.4	28.6

●C問6 今後、あなたがやってみたいと思うことを教えてください。(いくつでも○)

【全体】

- 今後やってみたいことについて、「家族・友人との交流」が41.0%で最も高く、次いで「旅行」が21.0%、「その他」が17.1%となっています。

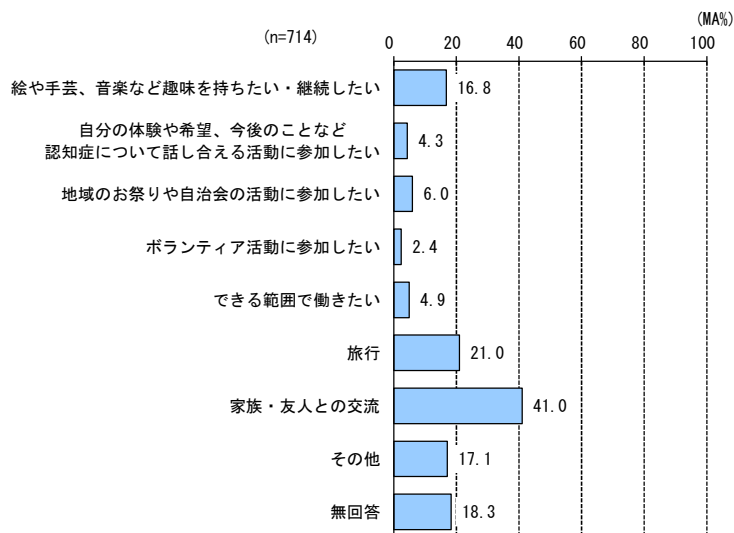
【性・年齢】

- 男性 前期高齢者では「自分の体験や希望、今後のことなど認知症について話し合える活動に参加したい」が8.7%と他の区分に比べて高くなっています。
- 女性 前期高齢者では「旅行」が32.4%と他の区分に比べて高くなっています。
- 女性では男性に比べて「絵や手芸、音楽など趣味を持ちたい・継続したい」「家族・友人との交流」が高くなっています。

【認知症自立度】

- 多くの項目で認知症自立度が軽度なほど回答割合が高くなっています。
- 「地域のお祭りや自治会の活動に参加したい」は認知症自立度Ⅱで他の区分に比べて高くなっています。

【今後やってみたいこと】



単位：%

今後やってみたいこと												単位: %	
		母数	絵や手芸、音楽など 継続したい	活動に参加したい	今後のことなど認知症に ついて話し合える	自分の体験や希望、 参加したい	地域のお祭りや 自治会の活動に 参加したい	ボランティア活動に 参加したい	働きたい できる範囲で	旅行	家族・友人との交流	その他	無回答
全体 (n=714)		714	16.8	4.3	6.0	2.4	4.9	21.0	41.0	17.1	18.3		
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=23)	23	17.4	8.7	-	4.3	4.3	13.0	▼ 17.4	17.4	30.4		
	後期高齢者 (n=204)	204	10.3	3.4	6.4	2.9	5.4	23.0	31.4	20.6	23.5		
	女性 前期高齢者 (n=37)	37	△ 35.1	5.4	2.7	5.4	10.8	△ 32.4	40.5	13.5	13.5		
	後期高齢者 (n=450)	450	18.2	4.4	6.4	1.8	4.2	19.6	46.7	15.8	15.8		
自認立知度症	自立+Ⅰ (n=412)	412	19.7	5.8	5.6	2.9	5.6	22.8	42.5	12.9	18.2		
	Ⅱ (n=246)	246	13.8	2.4	7.7	2.0	3.7	20.3	40.7	22.0	15.9		
	Ⅲ以上 (n=56)	56	8.9	1.8	1.8	-	5.4	▼ 10.7	32.1	26.8	30.4		

- C問7 あなたは、もの忘れが増えたり、判断能力が低下しても、住み慣れた地域で暮らしていくためには、周りの人からどのような協力があると助かりますか。(いくつかでも○)

【全体】

- 能力低下時に必要な周囲の協力について、「話し相手」が54.6%で最も高く、次いで「定期的な声かけや見守り」が39.1%、「居場所づくり（百歳体操やサロン、老人クラブ、認知症カフェなど）」が25.5%となっています。

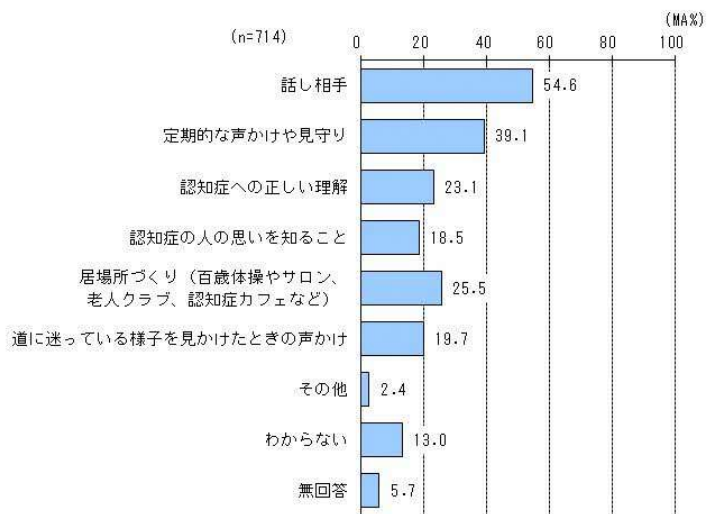
【認知症自立度】

- 認知症自立度Ⅲ以上では「認知症の人の思いを知ること」が28.6%と他の区分に比べて高くなっています。「わからない」も30.4%と高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人では受けていない人に比べて「定期的な声かけや見守り」「認知症への正しい理解」「認知症の人の思いを知ること」などで高くなっています。

【能力低下時に必要な周囲の協力】



単位：%

単位：％											
		母数	能力低下時に必要な周囲の協力								
			話し相手	定期的な声かけや見守り	正しい認知症への理解	認知症の人の思いを知ること	老人（百歳）居場所づくり（百歳体操やサロン、老人クラブ、認知症カフェなど）	道に迷っている様子を見かけたときの声かけ	その他	わからない	無回答
全体（n=714）		714	54.6	39.1	23.1	18.5	25.5	19.7	2.4	13.0	5.7
自認 立知 度症	自立+Ⅰ（n=412）	412	53.9	41.0	19.9	15.0	27.4	20.6	2.2	10.2	7.5
	Ⅱ（n=246）	246	59.3	35.8	28.5	22.0	25.2	19.1	2.8	13.8	2.8
	Ⅲ以上（n=56）	56	▼ 39.3	39.3	23.2	△ 28.6	▼ 12.5	16.1	1.8	△ 30.4	5.4
の認 診知 断症	受けている（n=247）	247	55.1	41.7	31.2	26.7	23.1	21.1	2.4	15.4	2.4
	受けていない（n=312）	312	55.1	39.7	19.2	14.4	26.6	19.2	2.9	12.8	4.5
	わからない（n=27）	27	51.9	▼ 18.5	▼ 11.1	▼ 7.4	▼ 14.8	11.1	3.7	22.2	11.1

- C問8 あなたが、もの忘れが増えたり、判断能力が低下した場合、どのような地域ならば安心して暮らしやすいと思いますか。(いくつでも○)

【全体】

- 認知症等でも暮らしやすい地域像について、「声掛け・見守り・住民同士の助け合いがある地域」が 55.3%で最も高く、次いで「公的な支援やサービス、行政施策が充実している地域」が 51.4%、「認知症になっても自分らしく、住み慣れた場所で暮らせる地域」が 47.9%となっています。

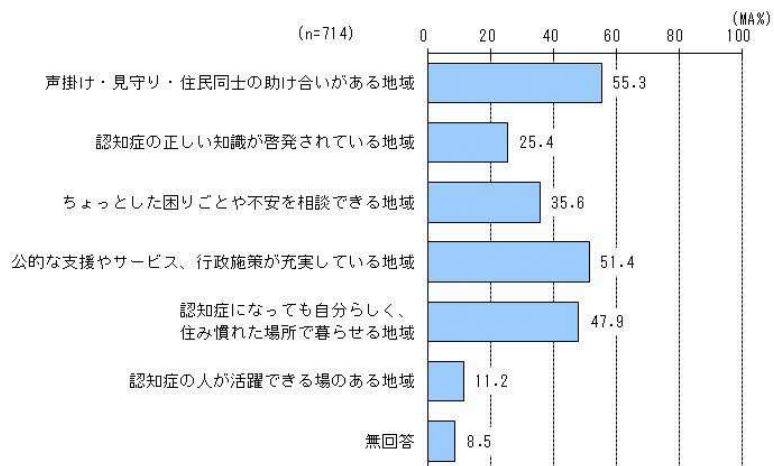
【認知症自立度】

- すべての認知症自立度で「声掛け・見守り・住民同士の助け合いがある地域」が5割を超えています。
- 認知症自立度Ⅲ以上では他の区分に比べて「認知症の正しい知識が啓発されている地域」「公的な支援やサービス、行政施策が充実している地域」が高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人では受けていない人に比べて「認知症の正しい知識が啓発されている地域」「認知症になっても自分らしく、住み慣れた場所で暮らせる地域」「認知症の人が活躍できる場のある地域」が高くなっています。

【認知症等でも暮らしやすい地域像】



単位：％

		母数	認知症等でも暮らしやすい地域像						
			声掛け・見守り・住民同士の助け合いがある地域	認知症の正しい知識が啓発されている地域	ちょっとした困りごとや不安を相談できる地域	公的な支援やサービス、行政施策が充実している地域	自分らしく、住み慣れた場所で暮らせる地域	認知症の人が活躍できる場のある地域	無回答
全体 (n=714)		714	55.3	25.4	35.6	51.4	47.9	11.2	8.5
認知症自立度	自立+Ⅰ (n=412)	412	55.3	24.5	38.3	51.9	47.3	9.7	8.5
	Ⅱ (n=246)	246	56.1	24.8	32.1	48.8	48.8	12.2	7.3
	Ⅲ以上 (n=56)	56	51.8	33.9	30.4	58.9	48.2	17.9	14.3
認知症の診断	受けている (n=247)	247	54.7	30.4	31.6	53.0	47.4	16.2	8.9
	受けていない (n=312)	312	57.7	23.1	38.8	54.5	47.1	6.7	6.1
	わからない (n=27)	27	40.7	7.4	33.3	25.9	48.1	3.7	-

- C問9 あなたは、家族などの身近な人が、認知症を正しく理解していると思いますか。
(ひとつだけ○)

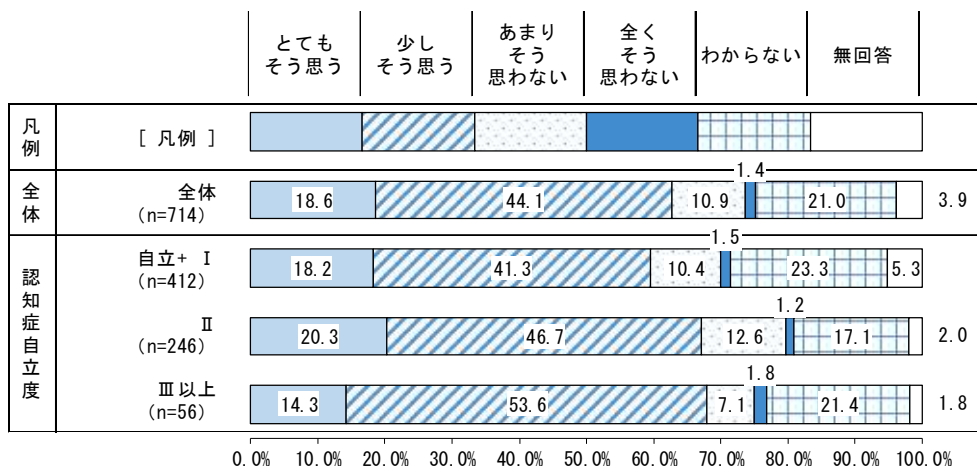
【全体】

- 身近な人の認知症理解に対する認識について、「少しそう思う」が44.1%で最も高く、次いで「わからない」が21.0%、「とてもそう思う」が18.6%となっています。
- 「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は62.7%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は12.3%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度自立および自立度Ⅰでは、他の区分に比べて“そう思う”が低くなっています。

【身近な人の認知症理解に対する認識】



- C問10 あなたは、希望に沿った医療や介護保険サービスなどを受けていると思いますか。(ひとつだけ○)

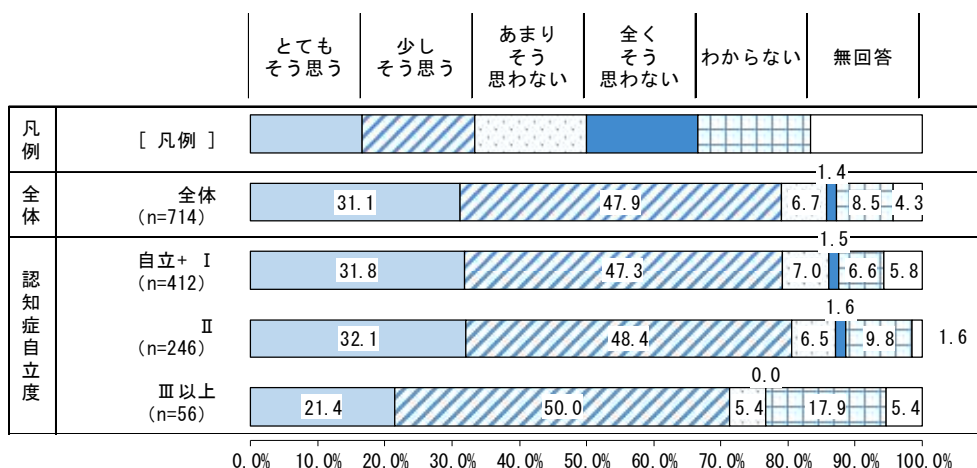
【全体】

- 医療・介護サービスの満足度（希望との一致）について、「少しそう思う」が47.9%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が31.1%、「わからない」が8.5%となっています。
- 「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は79.0%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は8.1%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度Ⅲ以上では、「とてもそう思う」が他の区分に比べて低くなっています。

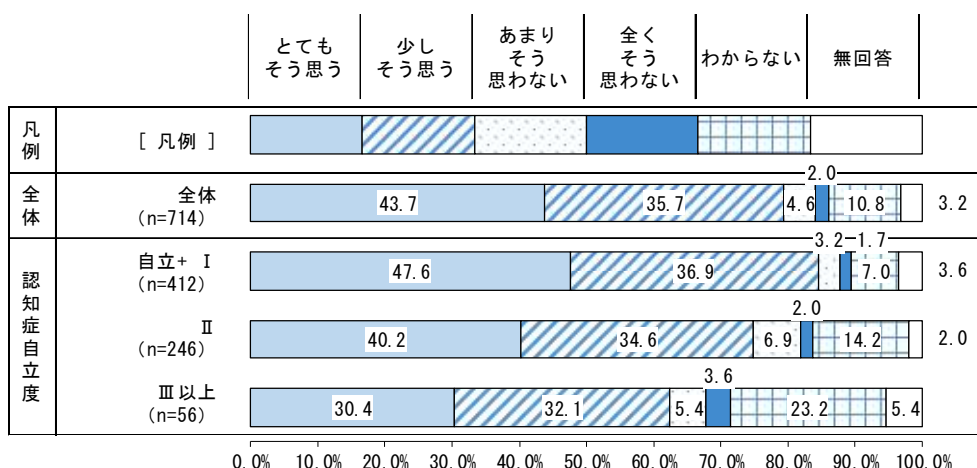
【医療・介護サービスの満足度（希望との一致）】



- C問11 あなたが認知症になった場合、家族や身近な人に、認知症であることを打ち明けてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

【全体】	
○	自身が認知症になった際の公表意向について、「とてもそう思う」が43.7%で最も高く、次いで「少しそう思う」が35.7%、「わからない」が10.8%となっています。
○	「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は79.4%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は6.6%となっています。
【認知症自立度】	
○	認知症自立度が軽度なほど「とてもそう思う」「そう思う」が高く、“そう思わない”が低い傾向がみられます。

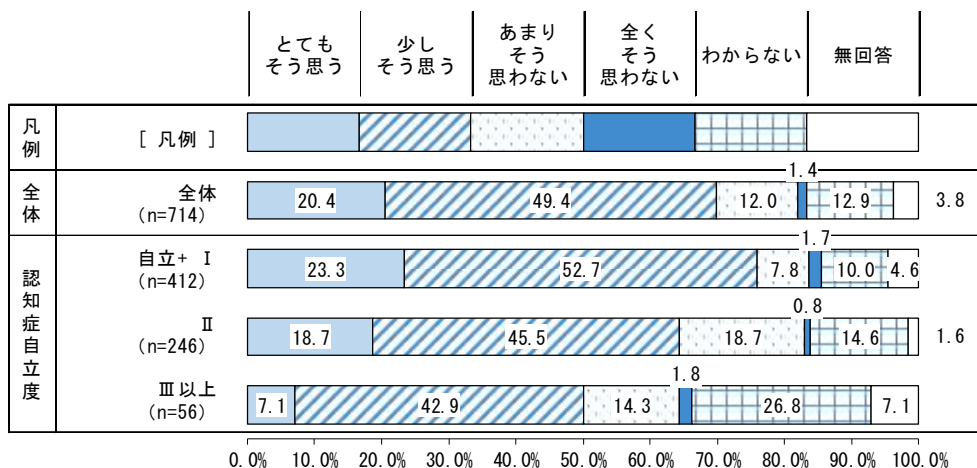
【自身が認知症になった際の公表意向】



- C問12 あなたは、自分の思いが尊重されていると思いますか。(ひとつだけ○)

【全体】	
○	本人の意思尊重の実感について、「少しそう思う」が49.4%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が20.4%、「わからない」が12.9%となっています。
○	「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は69.8%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は13.4%となっています。
【認知症自立度】	
○	認知症自立度が軽度なほど「とてもそう思う」「そう思う」が高くなっています。

【本人の意思尊重の実感】



- C問13 あなたが、もの忘れが増えたり、判断能力が低下した場合、どこで生活したいですか。(ひとつだけ○)

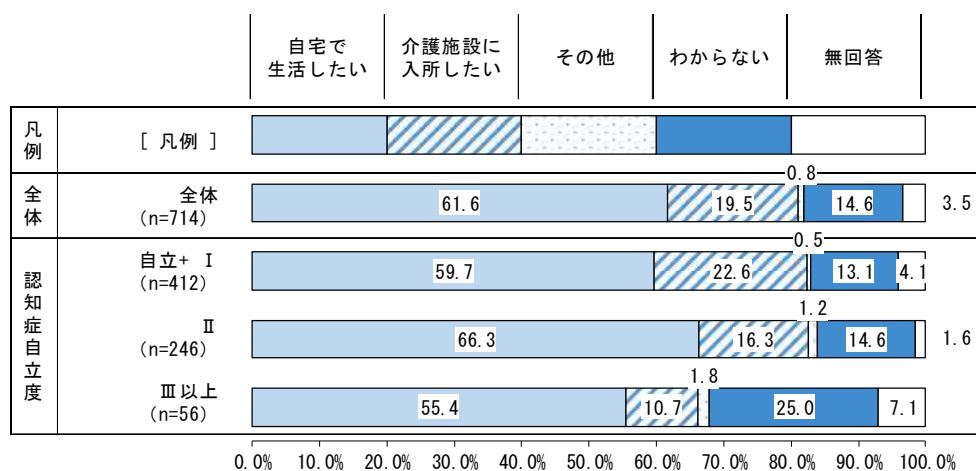
【全体】

- 判断能力低下時の希望居住場所について、「自宅で生活したい」が61.6%で最も高く、次いで「介護施設に入所したい」が19.5%、「わからない」が14.6%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度自立および自立度Ⅰでは、「介護施設に入所したい」が22.6%と他の区分に比べて高くなっています。
- 認知症自立度Ⅱでは「自宅で生活したい」が66.3%と他の区分に比べて高くなっています。
- 認知症自立度Ⅲ以上では「わからない」が25.0%と高くなっています。

【能力低下時の希望居住場所】



- C問14 あなたが、もの忘れが増えたり、判断能力が低下した場合、自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要になると思いますか。(いくつでも○)

【全体】

- 判断能力低下時に自宅で暮らすための条件について、「適切な介護サービスの利用」が76.3%で最も高く、次いで「認知症への理解と対応」が42.7%、「定期的な見守りと声かけ」が41.5%となっています。

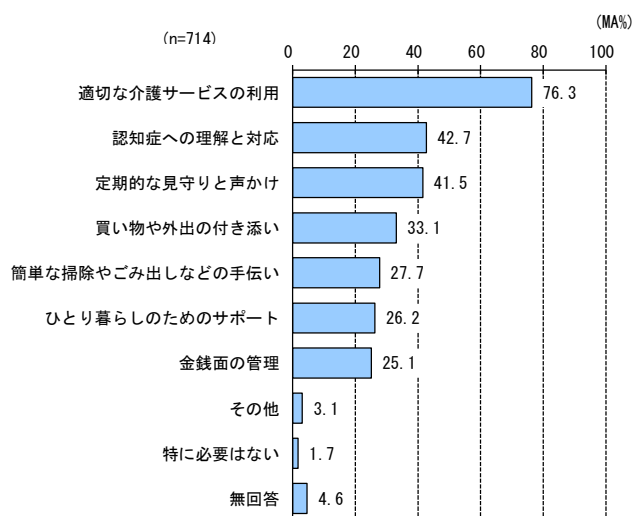
【認知症自立度】

- 認知症自立度Ⅲ以上では「認知症への理解と対応」「金銭面の管理」が他の区分に比べて高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人では受けていない人に比べて「認知症への理解と対応」「定期的な見守りと声かけ」「金銭面の管理」が高くなっています。

【能力低下時に自宅で暮らすための条件】



単位：%

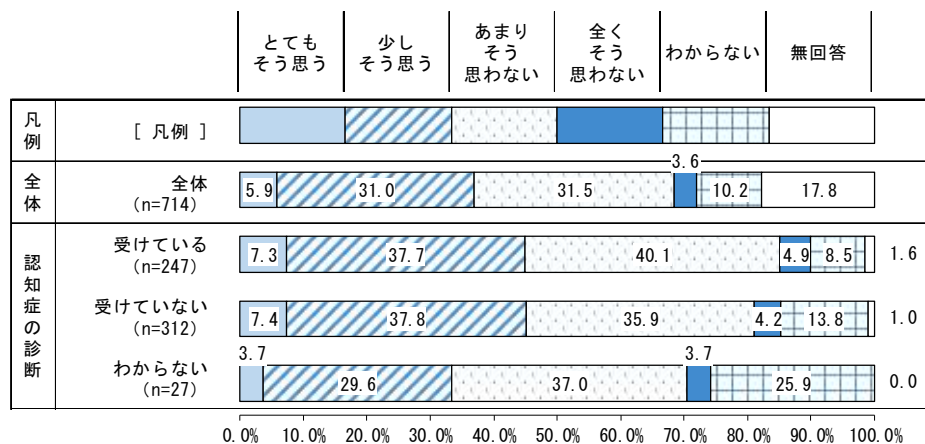
		能力低下時に自宅で暮らすための条件											単位: %
		母数	介護 利用 適切な サービスの 提供	認知 症への 理解と 対応	定期的 な声か け	外出 の付 き添 い	買い 物や 手伝 い	簡単 な掃 除や ゴミ 出し など の	ひとり 暮らし のため のサポ ー	金銭 面の 管理	その他	特に 必要 はない	無 回 答
自認 立知 度症	全体 (n=714)	714	76.3	42.7	41.5	33.1	27.7	26.2	25.1	3.1	1.7	4.6	
	自立+Ⅰ (n=412)	412	73.8	42.7	41.3	36.9	31.3	28.4	20.4	2.7	1.2	4.9	
	Ⅱ (n=246)	246	80.1	40.2	40.2	28.5	23.2	23.6	30.5	3.7	2.8	2.8	
	Ⅲ以上 (n=56)	56	78.6	△ 53.6	48.2	25.0	21.4	21.4	△ 35.7	3.6	-	10.7	
の認 診知 断症	受けている (n=247)	247	77.7	49.4	44.1	30.0	24.7	22.3	32.0	3.6	0.8	3.6	
	受けていない (n=312)	312	79.2	40.1	40.1	35.3	30.1	26.0	24.7	3.5	2.6	2.6	
	わからない (n=27)	27	66.7	▼ 29.6	33.3	29.6	18.5	▼ 14.8	▼ 14.8	3.7	3.7	-	

D票（主な介護者向け調査票）

- D問1 あなたは、周りのすべての人が、認知症を正しく理解していると思いますか。（ひとつだけ○）

【全体】	
○	社会全体の認知症理解に対する認識について、「あまりそう思わない」が31.5%で最も高く、次いで「少しそう思う」が31.0%、「わからない」が10.2%となっています。
○	「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う”は36.9%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は35.1%となっています。
【認知症の診断】	
○	認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べ“そう思わない”が高くなっています。

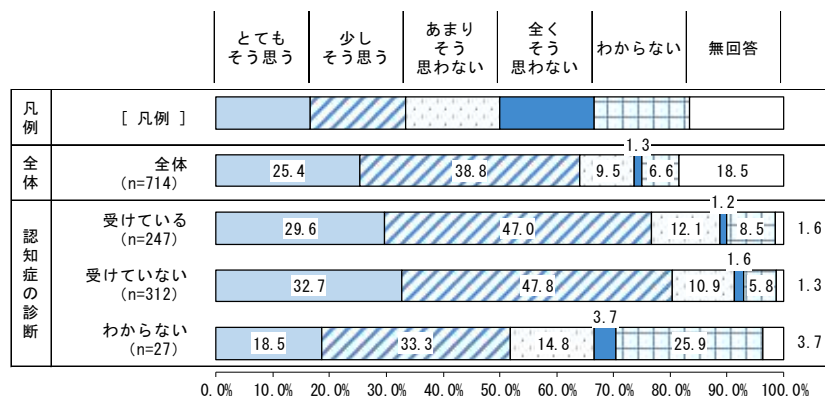
【社会全体の認知症理解に対する認識】



- D問2 あなたは、本人が希望に沿った医療や介護保険サービスなどを受けられていると思いますか。（ひとつだけ○）

【全体】	
○	本人の希望に沿ったサービス享受の実感について、「少しそう思う」が38.8%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が25.4%、「あまりそう思わない」が9.5%となっています。
【認知症の診断】	
○	認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べ“そう思わない”がわずかに高くなっています。

【本人の希望に沿ったサービス享受の実感】



- D問3 あなたは、家族が認知症になった場合、身近な人に、家族が認知症であることを打ち明けてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

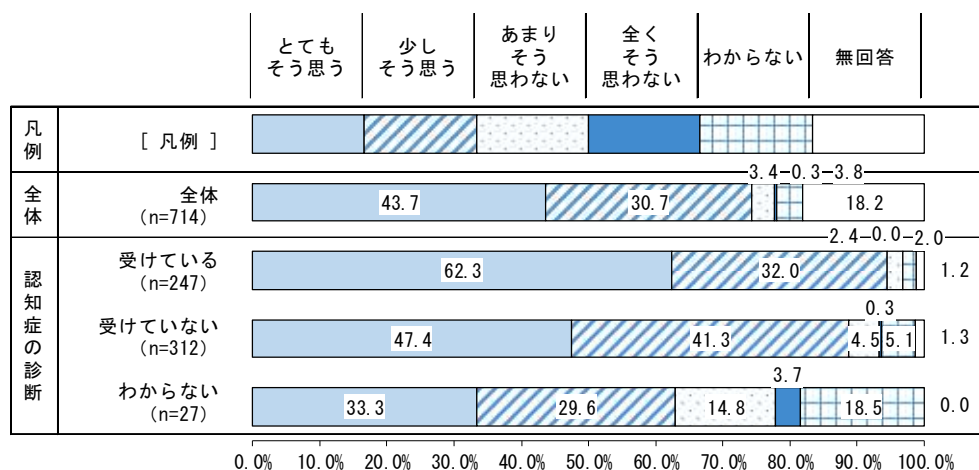
【全体】

- 家族が認知症になった際の公表意向について、「とてもそう思う」が43.7%で最も高く、次いで「少しそう思う」が30.7%、「わからない」が3.8%となっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べて“そう思う”が高くなっています。

【家族が認知症になった際の公表意向】



- D問4 あなたは、本人の意思が尊重されるなど、本人の望む生活が継続できていると思いますか。(ひとつだけ○)

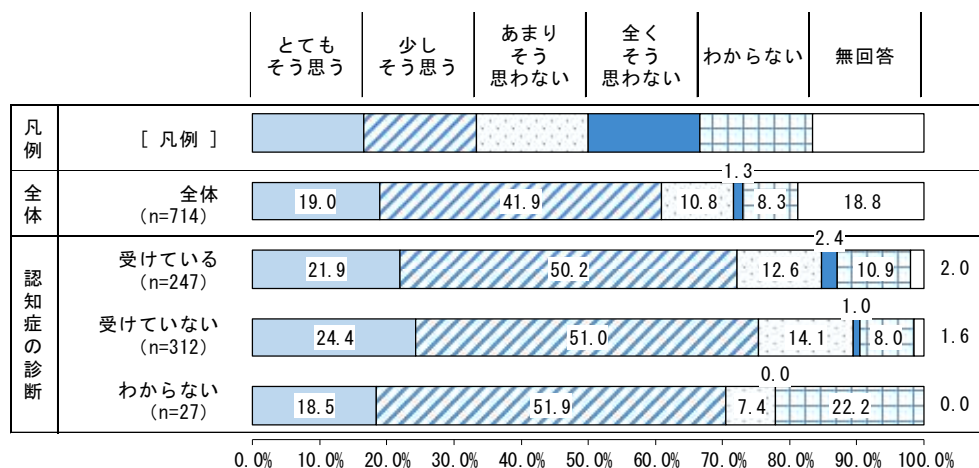
【全体】

- 本人の意思尊重・望む生活の継続実感について、「少しそう思う」が41.9%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が19.0%、「あまりそう思わない」が10.8%となっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べて“そう思う”が低くなっています。

【本人の意思尊重・望む生活の継続実感】



●D問5 本人は認知症の診断を受けていますか。(ひとつだけ○)

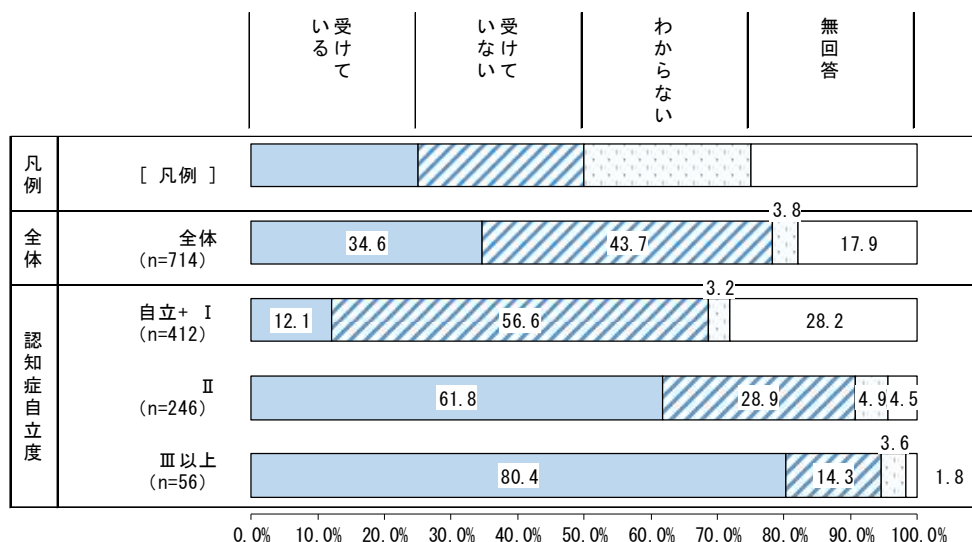
【全体】

○ 認知症診断の有無について、「受けていない」が43.7%で最も高く、次いで「受けている」が34.6%、「わからない」が3.8%となっています。

【認知症自立度】

○ 認知症自立度Ⅱで28.9%、Ⅲ以上で14.3%が「受けていない」と回答しています。

【認知症診断の有無】



●D問6 本人が認知症の診断を受けている方にお聞きします。あなたは、本人が認知症であることを周囲の人に話していますか。(ひとつだけ○)

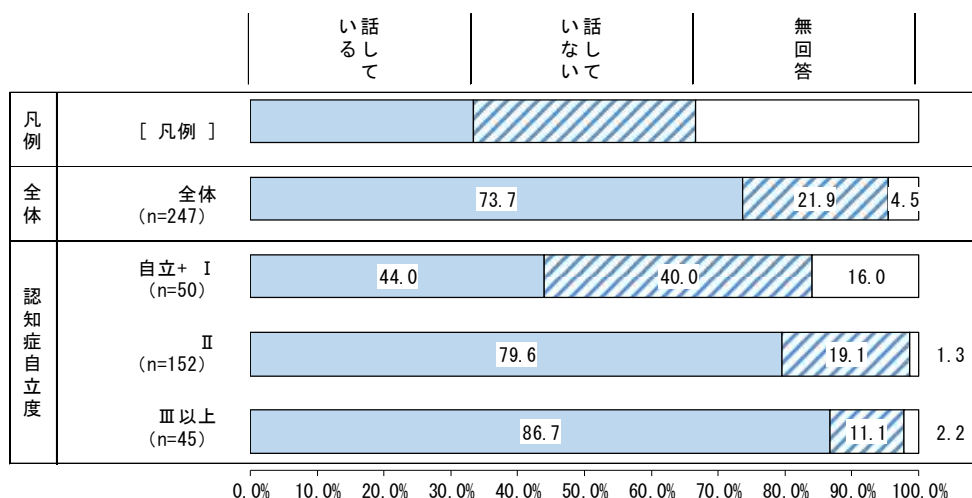
【全体】

○ 本人が認知症であることの周囲への開示状況について、「話している」が73.7%、「話していない」が21.9%となっています。

【認知症自立度】

○ 認知症自立度が重度なほど「話している」が高くなっています。

【本人が認知症であることの周囲への開示状況】

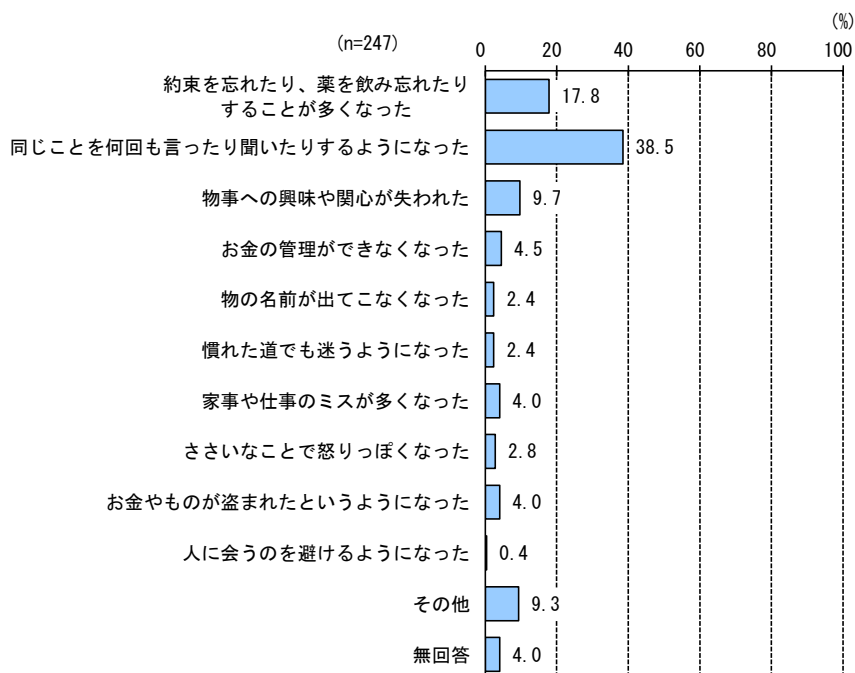


- D問7 本人が認知症の診断を受けている方にお聞きします。あなたは、本人のどのような様子を見て、認知症ではないかと思い始めましたか。（ひとつだけ○）

【全体】

- 認知症を疑い始めたきっかけ（症状）について、「同じことを何回も言ったり聞いたりするようになった」が 38.5%で最も高く、次いで「約束を忘れたり、薬を飲み忘れたりすることが多かった」が 17.8%、「物事への興味や関心が失われた」が 9.7%となっています。

【認知症を疑い始めたきっかけ（症状）】

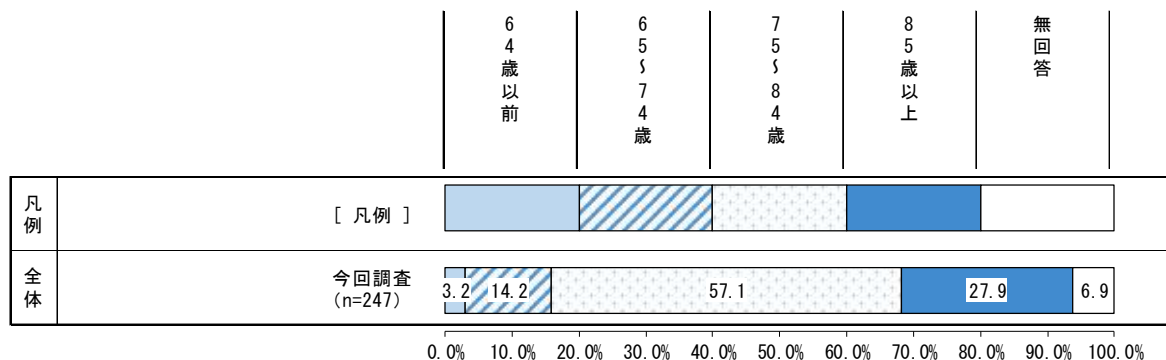


- D問8 それは、本人が何歳ごろの時でしたか。

【全体】

- 認知症を疑い始めた年齢について、「75～84 歳」が 57.1%で最も高く、次いで「85 歳以上」が 27.9%、「65～74 歳」が 14.2%となっています。

【認知症を疑い始めた年齢】



- D問9 本人が認知症の診断を受けている方にお聞きします。あなたが、本人のことを専門機関（医療・介護等相談機関）に相談したのは、本人が認知症ではないかと思いはじめてからどのくらいの期間ですか。（ひとつだけ○）

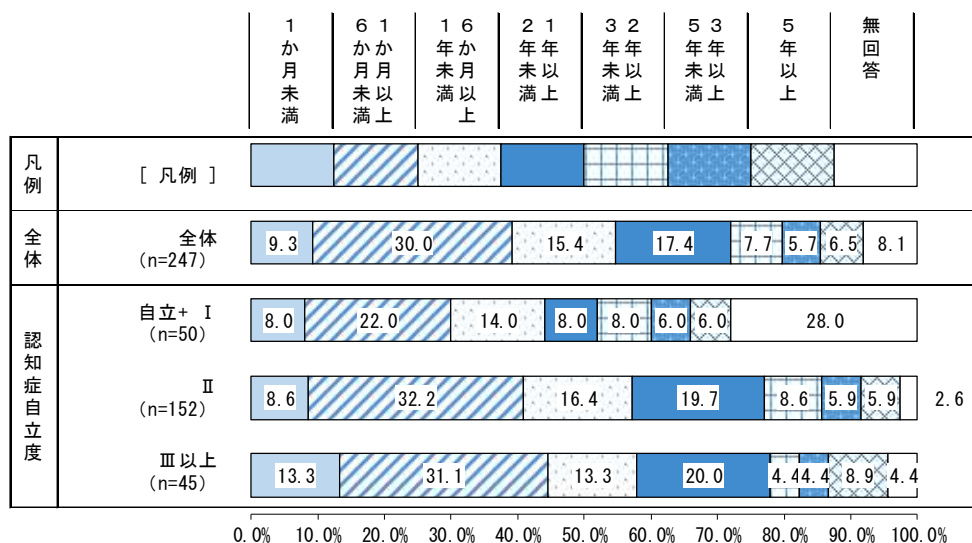
【全体】

- 疑いはじめてから専門機関へ相談するまでの期間について、「1か月以上6か月未満」が30.0%で最も高く、次いで「1年以上2年未満」が17.4%、「6か月以上1年未満」が15.4%となっています。

【認知症自立度】

- 認知症自立度が重度なほど、認知症を疑いはじめてから相談するまでの期間が短い割合が高い傾向がみられます。
- 一方、認知症自立度Ⅲ以上では、「5年以上」も8.9%と高くなっています。

【疑いはじめてから専門機関へ相談するまでの期間】

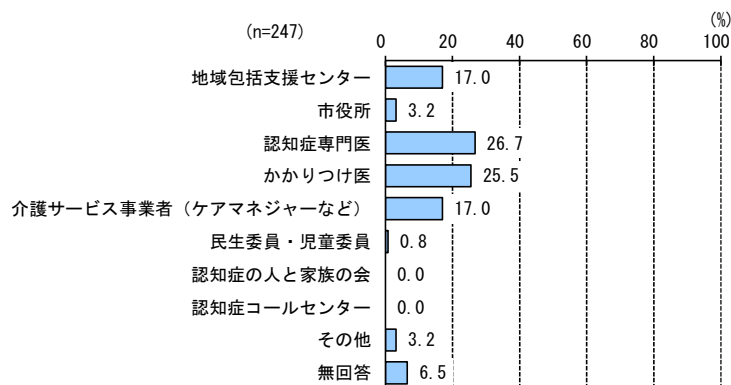


- D問10 本人が認知症の診断を受けている方にお聞きします。あなたが、家族・知人以外で最初に、本人の認知症の相談をしたところはどこですか。(ひとつだけ○)

【全体】

- 家族・知人以外での最初の相談先について、「認知症専門医」が26.7%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が25.5%、「地域包括支援センター」「介護サービス事業者（ケアマネジャーなど）」が17.0%となっています。

【家族・知人以外での最初の相談先】

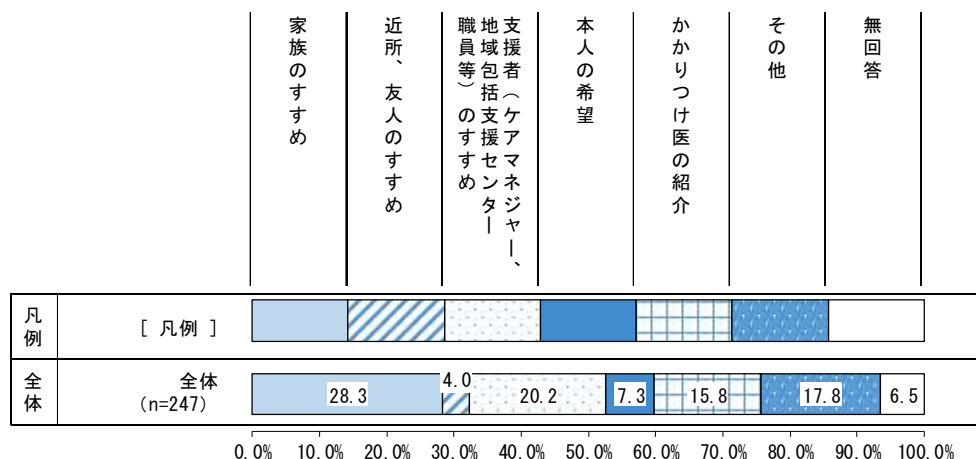


- D問11 本人が認知症の診断を受けている方にお聞きします。上記、問10について、相談しようと思ったきっかけはどのようなことですか。(ひとつだけ○)

【全体】

- 専門機関へ相談したきっかけについて、「家族のすすめ」が28.3%で最も高く、次いで「支援者（ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等）のすすめ」が20.2%、「その他」が17.8%となっています。

【専門機関へ相談したきっかけ】



●D問12 あなたは、介護の悩みを相談できる人がいますか。(いくつでも○)

【全体】

- 介護の悩み相談相手の有無について、「家族」が62.9%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が57.3%、「かかりつけ医」が28.0%となっています。

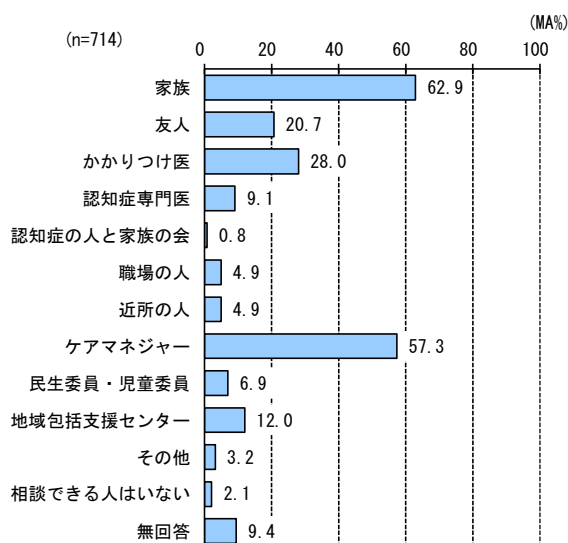
【認知症自立度】

- 本人の認知症自立度Ⅲ以上では「ケアマネジャー」が最も高く、他の区分では「家族」が最も高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べ、「認知症専門医」「友人」「かかりつけ医」などが高くなっています。

【介護の悩み相談相手の有無】



		介護の悩み相談相手の有無							
		母数	家族	友人	かかりつけ医	認知症専門医	認知症の人と家族の会	職場の人	近所の人
全体 (n=714)		714	62.9	20.7	28.0	9.1	0.8	4.9	4.9
自認 立知 度症	自立+ I (n=412)	412	59.0	17.5	23.5	4.6	0.7	3.6	3.6
	II (n=246)	246	69.1	24.8	35.0	15.0	0.8	7.3	6.1
	III以上 (n=56)	56	64.3	26.8	30.4	16.1	1.8	3.6	8.9
の認 診知 断症	受けている (n=247)	247	69.6	25.5	33.6	△ 19.4	1.6	6.5	7.3
	受けていない (n=312)	312	69.9	21.5	29.5	3.5	0.6	5.8	4.8
	わからない (n=27)	27	59.3	▼ 3.7	22.2	7.4	-	-	-

		介護の悩み相談相手の有無						
		母数	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	その他	相談できる人はいない	無回答
全体 (n=714)		714	57.3	6.9	12.0	3.2	2.1	9.4
自認 立知 度症	自立+ I (n=412)	412	52.4	7.8	12.6	1.5	1.9	14.8
	II (n=246)	246	63.4	6.1	12.2	4.9	2.0	2.4
	III以上 (n=56)	56	66.1	3.6	7.1	8.9	3.6	-
の認 診知 断症	受けている (n=247)	247	60.3	4.5	10.5	5.7	2.0	0.8
	受けていない (n=312)	312	63.8	8.3	16.0	2.2	2.6	2.2
	わからない (n=27)	27	59.3	3.7	3.7	-	7.4	7.4

- D問13 あなたは、本人の介護をしていて困ること、負担に感じることはありますか。(いくつでも○)

【全体】

- 介護における困りごと・負担感について、「特にない」が 25.4%で最も高く、次いで「自分の自由な時間がない」が 24.6%、「本人を残して外出できない」が 23.8%となっています。

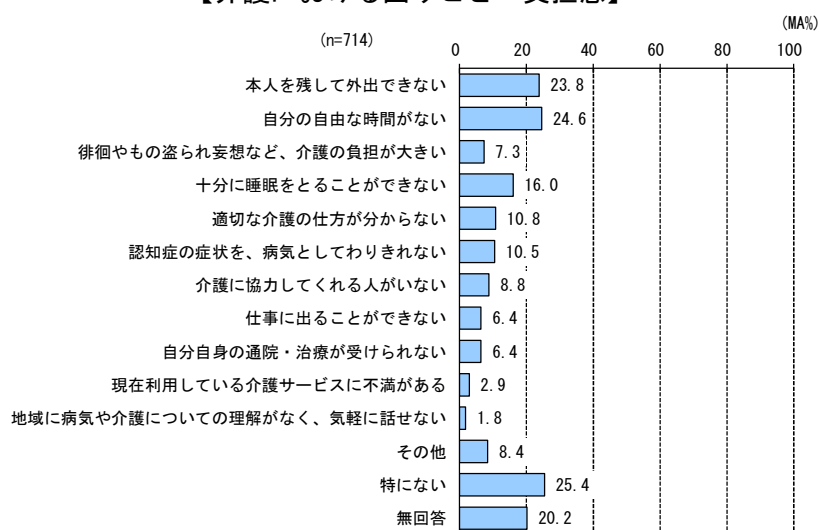
【認知症自立度】

- 「仕事に出ることができない」を除くすべての項目で、認知症自立度が重度なほど回答割合が高くなっています。
- 認知症自立度Ⅲ以上では「本人を残して外出できない」「自分の自由な時間がない」「十分に睡眠をとることができない」が4割を超え高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では「本人を残して外出できない」「自分の自由な時間がない」が4割程度と高くなっています。

【介護における困りごと・負担感】



単位：%

		母数	介護における困りごと・負担感								単位：%
			本人を残して 外出できない	自分の自由な 時間がない	徘徊やもの盗られ 妄想など、介護の 負担が大きい	十分に睡眠を とることができない	仕方が分らない 適切な介護の 仕方が分らない	認知症の症状を、 病気として わかりきれない	介護に協力が いてない		
全体 (n=714)		714	23.8	24.6	7.3	16.0	10.8	10.5	8.8		
認知症 自立度	自立+ I (n=412)	412	▼ 11.2	▼ 14.1	2.4	7.8	7.0	3.4	4.9		
	II (n=246)	246	△ 39.4	△ 37.8	11.4	23.2	15.9	19.5	12.6		
	III以上 (n=56)	56	△ 48.2	△ 44.6	△ 25.0	△ 44.6	16.1	△ 23.2	△ 21.4		
認知症 診断	受けている (n=247)	247	△ 40.9	△ 36.8	15.8	25.9	15.4	△ 23.5	13.8		
	受けていない (n=312)	312	18.9	24.4	3.2	12.2	9.6	4.5	8.0		
	わからない (n=27)	27	18.5	14.8	-	22.2	14.8	7.4	3.7		

単位：%

		母数	介護における困りごと・負担感							単位：%
			仕事に出ることができない	治療が受けられない	自分自身の通院・介護に利用しているサービスに不満がある	現在利用している介護サービスの利用に不満がある	地域での病気の理解や介護に話せない	その他	特にない	無回答
全体 (n=714)		714	6.4	6.4	2.9	1.8	8.4	25.4	20.2	
認知症自立度	Ⅰ (n=412)	412	3.4	3.4	1.9	0.7	6.8	31.8	32.5	
	Ⅱ (n=246)	246	11.8	10.6	4.1	2.4	10.6	17.1	4.1	
	Ⅲ以上 (n=56)	56	5.4	10.7	5.4	7.1	10.7	▼ 14.3	-	
認知症診断	受けている (n=247)	247	10.1	8.9	3.2	3.6	11.3	▼ 15.4	3.2	
	受けていない (n=312)	312	6.1	7.1	3.5	1.0	9.6	△ 36.9	11.9	
	わからない (n=27)	27	3.7	3.7	3.7	-	7.4	△ 37.0	14.8	

- D問14 あなたが、本人の介護をしていて、良かったと思えることはありますか。(いくつかでも○)

【全体】

- 介護を通して得られた肯定的な経験について、「特にない」が 34.7%で最も高く、次いで「家族で話す機会が増えた」が 23.1%、「自身の体調を気にするようになった」が 21.7%となっています。

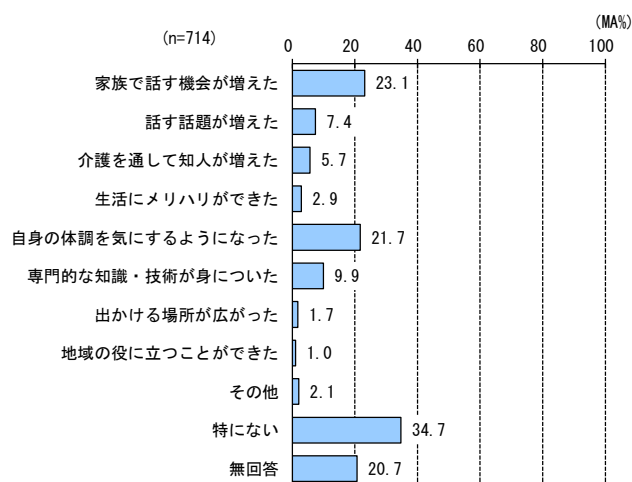
【認知症自立度】

- 認知症自立度Ⅲ以上の人介護者では「家族で話す機会が増えた」が最も高く、他の区分では「特にない」が最も高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べ、「専門的な知識・技術が身についた」が特に高くなっています。

【介護を通して得られた肯定的な経験】



		介護を通して得られた肯定的な経験						
		母数	機会が増えた	話が増えた	知人が増えた	生活にメリハリができた	自身の体調を気にするようになった	専門的な知識・技術が身についた
全体 (n=714)		714	23.1	7.4	5.7	2.9	21.7	9.9
認知症自立度	Ⅰ (n=412)	412	19.7	7.8	4.4	1.7	18.7	7.3
	Ⅱ (n=246)	246	26.0	6.9	6.9	5.3	24.4	11.4
	Ⅲ以上 (n=56)	56	△ 35.7	7.1	10.7	1.8	△ 32.1	△ 23.2
認知症診断	受けている (n=247)	247	25.9	8.9	8.1	4.9	24.3	18.2
	受けていない (n=312)	312	28.8	9.9	5.1	2.2	27.6	7.7
	わからない (n=27)	27	▼ 11.1	-	7.4	-	22.2	-

		介護を通して得られた肯定的な経験				
		母数	出かける場所が広がった	地域での役にできた	その他	特にない
全体 (n=714)		714	1.7	1.0	2.1	34.7
認知症自立度	Ⅰ (n=412)	412	1.5	1.2	1.0	29.4
	Ⅱ (n=246)	246	2.4	0.8	3.7	△ 44.7
	Ⅲ以上 (n=56)	56	-	-	3.6	30.4
認知症診断	受けている (n=247)	247	2.8	1.6	3.6	41.7
	受けていない (n=312)	312	1.3	0.6	1.6	35.9
	わからない (n=27)	27	-	-	-	△ 51.9

- D問15 あなたが、本人の介護をしていて、身近に地域であつたらいいと思うものはありますか。(いくつでも○)

【全体】

- 地域にあれば良いと思う介護支援について、「日ごろからの支え合いや声掛け、挨拶」が29.4%で最も高く、次いで「居場所（百歳体操やサロン、老人クラブなど）」が17.9%、「地域で認知症の理解を深め、身近な支援者を増やすこと（認知症サポーターの養成）」が15.5%となっています。

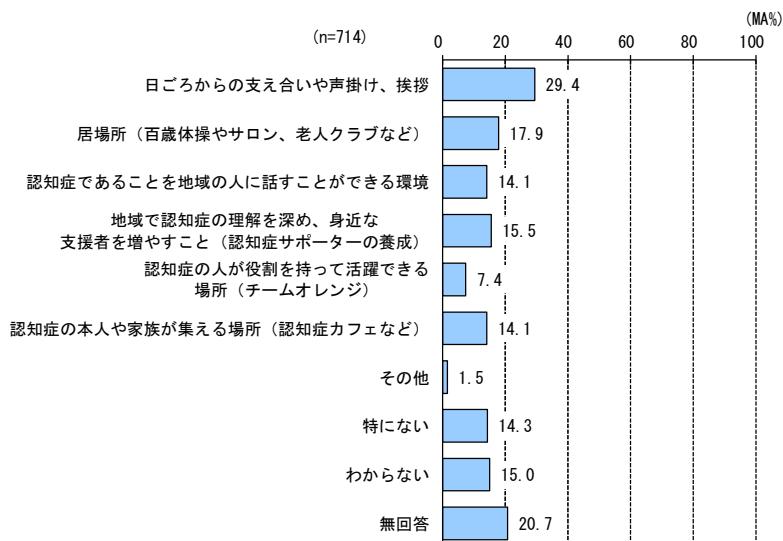
【認知症自立度】

- 本人の認知症自立度が低いほど「認知症であることを地域の人に話すことができる環境」「地域で認知症の理解を深め、身近な支援者を増やすこと（認知症サポーターの養成）」「認知症の人が役割を持って活躍できる場所（チームオレンジ）」「認知症の本人や家族が集える場所（認知症カフェなど）」が高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べ、「認知症であることを地域の人に話すことができる環境」「地域で認知症の理解を深め、身近な支援者を増やすこと（認知症サポーターの養成）」「認知症の人が役割を持って活躍できる場所（チームオレンジ）」が高くなっています。

【地域にあれば良いと思う介護支援】



単位：%

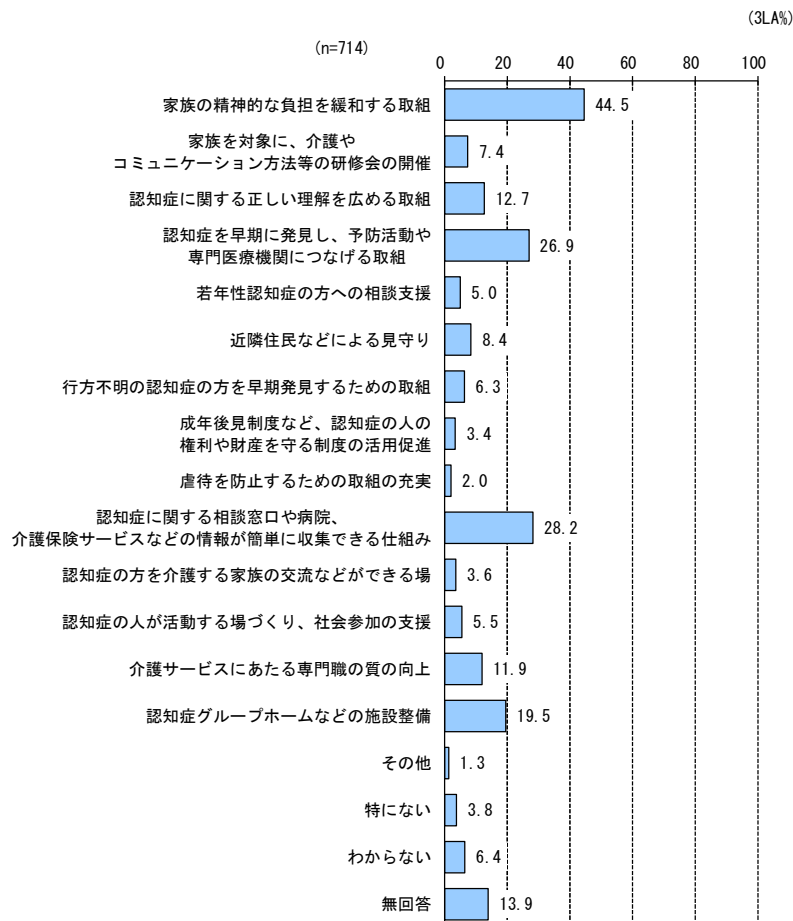
		地域にあれば良いと思う介護支援									
	母数	挨拶日ごろからの声掛け、	老人クラブなど	居場所（百歳体操や	地域で認知症の理解を深め、身近な支援者を増やすこと（認知症サポーターの養成）	認知症の人が役割を持って活躍できる場所（チームオレンジ）	認知症の本人や家族が集える場所（認知症カフェなど）	その他	特にない	わからない	無回答
全体 (n=714)	714	29.4	17.9	14.1	15.5	7.4	14.1	1.5	14.3	15.0	20.7
自認自立+ I (n=412)	412	26.2	18.2	9.0	10.9	6.3	11.2	0.7	12.1	12.9	31.8
II (n=246)	246	34.1	18.7	19.5	19.9	8.1	17.1	2.4	17.1	19.9	6.1
III以上 (n=56)	56	32.1	12.5	△ 28.6	△ 30.4	12.5	23.2	3.6	17.9	8.9	3.6
の認知症を受けている (n=247)	247	33.6	20.2	21.9	22.7	10.9	19.0	3.2	14.2	15.4	5.7
を受けていない (n=312)	312	37.2	21.2	13.1	15.7	6.7	12.5	0.6	16.0	16.7	13.1
わからない (n=27)	27	▼ 7.4	14.8	11.1	7.4	-	22.2	3.7	11.1	△ 37.0	14.8

- D問16 あなたは、今後、守山市が認知症施策を進めていく上で、特にどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。（3つまで○）

【全体】

- 守山市が重点を置くべき認知症施策について、「家族の精神的な負担を緩和する取組」が44.5%で最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が28.2%、「認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組」が26.9%となっています。

【守山市が重点を置くべき認知症施策】



【認知症自立度】

- 本人の認知症自立度が高いほど「家族の精神的な負担を緩和する取組」「若年性認知症の方への相談支援」「行方不明の認知症の方を早期発見するための取組」「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」「介護サービスにあたる専門職の質の向上」が高くなっています。

【認知症の診断】

- 認知症の診断を受けている人の介護者では受けていない人の介護者に比べ、多くの項目で回答が高くなっています。
- 「認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組」「成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の活用促進」「虐待を防止するための取組の充実」「介護サービスにあたる専門職の質の向上」では認知症の診断を受けていない人の介護者の方が高くなっています。

単位：％

		母数	守山市が重点を置くべき認知症施策								
			家族の精神的な負担を緩和する取組	家族を対象に、コミュニケーションの研修会の開催方法	認知症に関する正しい理解を広める取組	認知活動を早期に発見し、専門医療機関につなげる取組	若年性認知症の方への相談支援	近隣住民などによる見守り	行方不明の認知症の方の早期発見する取組	成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の活用促進	虐待を防止するための取組の充実
自認立知度症	全体 (n=714)	714	44.5	7.4	12.7	26.9	5.0	8.4	6.3	3.4	2.0
	自立+Ⅰ (n=412)	412	36.9	7.0	11.7	29.1	2.9	8.0	5.1	3.6	1.7
	Ⅱ (n=246)	246	54.1	6.1	14.6	24.4	6.5	9.3	7.7	2.8	1.6
	Ⅲ以上 (n=56)	56	△ 58.9	16.1	12.5	21.4	14.3	7.1	8.9	3.6	5.4
の認知診断症	受けている (n=247)	247	51.8	7.3	16.6	23.9	7.3	9.3	7.7	2.4	2.0
	受けていない (n=312)	312	49.4	9.9	11.5	31.7	5.4	9.3	5.4	4.5	2.2
	わからない (n=27)	27	40.7	3.7	14.8	▼ 14.8	-	7.4	14.8	3.7	3.7

単位：％

		母数	守山市が重点を置くべき認知症施策								
			収集できる仕組みなどの情報提供が簡単に	認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービス	認知症の方を介護できる家族の交流などができる場	認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援	介護サービスの向上にあたる専門職の質の向上	認知症グループホームなどの施設整備	その他	特にない	わからない
自認立知度症	全体 (n=714)	714	28.2	3.6	5.5	11.9	19.5	1.3	3.8	6.4	13.9
	自立+Ⅰ (n=412)	412	24.3	2.9	5.1	10.7	16.7	1.0	3.9	6.3	22.1
	Ⅱ (n=246)	246	28.9	4.9	6.5	12.6	23.6	1.6	4.1	7.7	2.8
	Ⅲ以上 (n=56)	56	△ 53.6	3.6	3.6	17.9	21.4	1.8	1.8	1.8	1.8
の認知診断症	受けている (n=247)	247	33.2	4.9	7.7	13.0	27.1	2.0	3.6	5.3	3.6
	受けていない (n=312)	312	31.1	2.9	4.8	13.5	20.2	1.0	3.5	7.7	6.1
	わからない (n=27)	27	25.9	7.4	7.4	11.1	▼ 7.4	3.7	3.7	△ 18.5	7.4